



なすびの花

発行者：検査課

掲示期限：令和4年11月30日 (水)

掲示許可：総務課

2022年品質月間に向けて

毎年11月は品質月間です。

品質月間の主な目的は、

1. 全社員の品質意識の高揚／顧客満足、従業員満足の徹底／品質保証体制の確認／製品、サービスの質向上／品質レベル向上
 2. 経営方針の展開と成果の確認
- などです。

そして、今年のテーマは、

今こそ実践 新たな社会のクオリティです。

昨年のテーマは、『新たな社会のクオリティ』を指すことでした。

今年の主旨は、

『ビジネスのDX化やそれを支える人材育成、TQMの根幹である社内外とのコミュニケーションを根底から考え直そう、という昨年の意図の実現に向けた活動の展開に挑戦する』という内容です。

コミュニケーションについて言いますと、まだまだ社外の方々とは、テレビ会議などが主ではありませんが、最近では、訪問してくださるお客様がいらつしゃったり、少しずつ活気を感じる日も出てまいりましたね。

社内のコミュニケーションはどうでしょうか。

大きな会社ではないので、小回りが利いて、風通しも良く、縦のつながりも横のつながりも、滑らかにコミュニケーションがとれているように思います。

会議などで、品質に関しての情報展開もこまめに行われていて、社内の変化点もよく見えています。

その反面、共有する情報が多く、知らず知らず、一部でのみ情報が行き来していることもあり、全体共有が遅れるといった場面もあります。

もしもトラブルが起こった場合、またトラブルの未然防止のためにも、必要な情報は全員でしっかりと共有し、緊急時にもスピード感を持って対処できるようにしておくことが大切です。

先日社員に向けて課題が出されました。要約すると、

『自分の部署が全体のために行えることを自分で考えて動きましょう』

というような内容でした。

横のつながりが良いと言っても、自分の部署の『後工程』にあたる部分のことは、普段からよく考えて作業をしています。全体となると難しく、それぞれの部署が考える機会となりました。

そういった部分のコミュニケーションをより良くしながら、そして我が社の良いところを残しながら、品質の維持向上のために、成長していきたいですね。

繁忙期もあと1ヶ月ほどです。

残業や土曜日出勤などありますが、皆さま、栄養補給、そして睡眠をしっかりとって、体調管理に十分気を付けて、あともう少しを乗り切りましょう。

社内教育

毎月土曜日の品質環境会議の日の午後、製造課の社内教育として、製造課社員の皆さんが、電気についての勉強会をしておられます。

10月の開催時に、ISO事務局で、見学させていただきました。

教育用の教材を各自が持ち、講師のS課長手作りの資料を画面で見ながら、そして教材を実際に使用しての勉強会でした。

30分程度と短い時間ではありましたが、講義内容は、電気にあまり詳しくない、そして学生の頃に理科系の勉強が苦手だった私にも、理解しやすく進められていて、本当はこの次にも参加させてもらいたいような楽しい講義でした。

社員のそれぞれが、実際に教材にデータを入れ、配線を行い動かしたり、動かない場合には、回路をたどって原因を見つけたりと、とても実用的な勉強会をされています。

S課長は、

「最終的には、みんなデジタル化の何かを創りたいなと思っています。」

と将来の展望を語っておられました。

その日が来るのが私たちも楽しみです。

このような教育活動は、現在、製造課独自の取り組みですが、他の部署でも開催したり、興味のあるテーマの時に誰もが参加できる公開型の小集団活動など、全体に広がるのも良いなと思いました。